

2017年11月1日  
第101号

発行：日本臨床検査技師連盟  
発行責任者：梶山 広美  
編集担当者：中井 規隆

日本臨床検査技師連盟ニュース  
**連盟ニュース**

今号の主な内容

技師連盟の重要性について

支部活動報告

カンボジア学生会見学

**技師連盟の重要性について**

連盟代表 梶山広美

日頃は、日本臨床検査技師連盟の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

また、各都道府県技師会会長並びに各県連盟支部長には、第48回衆議院議員総選挙への対応等につきまして、日本臨床検査技師連盟の推薦状の公布並びに「2017政策パンフレット」の配布等、お忙しい中、都道府県技師連盟の皆様を総動員され対応していただきましたことに、感謝申し上げます。ご承知のとおり、自由民主党が単独で過半数を超え、安定的政権運営を担う基盤が確保され、公明党を合すると3分の2の議席を確保されました。ここに改めて、感謝とお礼を申し上げます。

さて、今回は、技師連盟活動の重要性について臨床検査技師の皆さんにお伝えしたいと思います。言うまでもなく技師連盟は、臨床検査の発展および臨床検査技師制度のための政策を政治の場に反映させるために組織された政治団体です。臨床検査をもって国民の皆さんの健康を守り、医療、福祉に寄与することは、我々に課せられた責務であります。今まさに医療を取り巻く環境は、少子高齢化の進展、医療技術の進歩、及び医療提供の場の多様化により大きく変わってきています。医療の「パラダイムシフト」はすぐそこまできており、日本医療のIT化、AI(人工知能)による正確な迅速診断・治療は遠い未来のことではなくなってきました。今、我々臨床検査技師は、その変化に向けて行動する時を向かえています。時代の流れの先に行く臨床検査技師でありたいと思います。臨床検査技師一人一人がその思いで取り組まなければ、これからの臨床検査業界の未来を拓いていくことはできないのではないのでしょうか。今まさに、医療者中心から利用者中心に患者本位の医療を実現するための臨床検査技師の業務拡大、臨床検査の新たな価値を創設するためには政治の力が必要なのです。このたび日本臨床検査技師会より、平成28年7月の参議院比例代表選挙において宮島喜文議員を、組織内候補として擁立し積極的な支援をいただき国政の場に送

ることができました。これはまさに我々の団結を表しており、大きな成果でもありました。今後の期待は大きいです。「医療法・臨技法の一部改正」が進んだのもその一つかと思えます。宮島参議院議員は現在、精力的な議員活動の中、全国を廻り「国政報告会」を開催し我々臨床検査業界のために力を発揮していただいています。しかし、技師連盟は十分な応援ができていない現状があり大変残念です。みなさんからの応援の気持ちは十分にいただいていますですが形になっていない状態です。

今年度、組織強化のため会員数の目標を8,000口としました。各支部にて会員数増に取り組んでいただきましたが、10月現在で加入口数は3,633口に留まっております。我々の目的を達成するためには、2年後の参議院議員の選挙に向け宮島参議院議員に続いて臨床検査業界から国政に代表を送り出すこと、臨床検査技師制度の発展のために応援いただける議員連盟への支援に関する活動、日臨技と連携して必要な意見を述べていく等活発な活動が必要になります。我々には今組織力の拡大が急がれています。世間から認められる組織となるためには、会員数を増やし組織強化を図ること、それには日臨技会員への連盟活動に対する理解と協力を得る積極的な広報が必要になります。12月末で平成29年度が終わり、平成30年1月より新しい連盟年度が始まります。次年度の事業計画は今年の課題をもとに立案しますが、どうか今後も未来の臨床検査技師会のためご支援をいただきたくお願い申し上げます。この連盟ニュースを読んでいただいた会員の皆様が、一人でも多くの技師に連盟の重要性を広げていただけることを期待したいと願っております。

最後に、各支部で行われた日臨技支部医学検査学会にて連盟ブースにご協力を頂いた各支部のブロック長と各県連盟支部長並びに会員の皆様に感謝申し上げます。

日本臨床検査技師会支部学会において連盟紹介コーナーを設置し  
入会促進の説明・相談を行っております。各支部からの報告を掲載します。

### 中部圏支部医学検査学会 学会スタッフの理解と協力で効果大

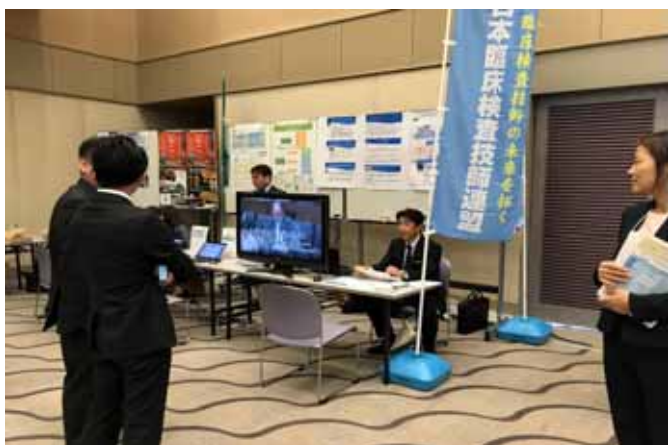
2017年9月30日から10月1日の日臨技中部圏支部医学検査学会（第56回）に於いて日本臨床検査技師連盟ブースを設置しました。ブースでは活動を知って頂き入会者に繋げていくために、従来のポスタ-とノボリに加え新しく以下の4つの試みを実施しました。

学会用に独自で入会案内を作成

宮島喜文氏の活躍が掲載されたり-フレット配布

国会での宮島喜文氏の代表質問の状況を常時ビデオ放映

ブースに留まらず会場内で積極的に活動



ブースの設置場所が1500名近い参加者の多くが一度は訪れる展示会場内ステージ横ということや、次年度全国開催の静岡県ブース、中部圏開催の三重県ブースおよびe-ラーニングのブース等、人気のブースと隣接ということもあり多数の会員が訪れました。ブースに訪れない会員にも派手なブースは目に止り連盟の活動をアピールする事ができました。

ステージでの催し中はビデオの音量を抑えませんが本部の努力により字幕ス-パ-を加えたため宮島喜文氏の国会での活躍がしっかり伝わりました。本人がブースを訪れた時は一層盛り上がりました。

今回は学会スタッフのご理解、ご協力もあり、とても効果的に活動することができました。またブースでは事前に入会勧誘した方々の受付も兼ねていたため盛況となり67名の入会がありました。学会スタッフの皆様ありがとうございました。

中部圏支部ブロック長 森田秀夫

### 北日本支部ブロック活動 日臨技北日本支部医学検査学会

去る10月14日（土）15日（日）に秋田市のアトリオンにて平成29年度日臨技北日本支部医学検査学会（第6回）が開催されました。学会参加者は約800名と集計されており、盛會に終了いたしました。また、学会中は会員に日技連の説明及び勧誘を行う良い機会であり、連盟ブースを設置して北日本の各道県より法被姿の連盟執行委員がパンフレットの配布等で加入を呼びかけました。



学会の都合で展示場が2部構成となり、機器展示（B1F）とe-ラーニング・書籍販売・休憩コーナー・連盟ブース（4F）が分かれる配置となり、メイン会場の横に連盟ブースが設置されました。スペースはありましたが、どちらかという通路的な感じで「人だまり」とはなりにくく最初はア

ピールも少々難しい状況でした。1日目の午後からは、場所を会員受付の横に移してパンフレットも学会資料と同封する体制を取り、2日目の終了時には300部のパンフレットと振込用紙がほぼ無くなっておりました。

9月末現在の加入口数は357口、加入者数は297名です。北日本ブロックの目標加入人数は1202名で、目標にはまだ届きません。今学会でのアピール効果で各道県も活動にテコ入れとなりましたので、今後の伸びに期待して目標に届く様に体制を強化いたします。

北日本支部ブロック長 藤田秀文



### 関甲信支部・首都圏支部医学検査学会 日臨技連盟ブースを展開して

第54回関甲信支部・首都圏支部医学検査学会が2017年10月28・29日（土日）に開催され、スライド受付の手前に日臨技連盟ブースを設けさせていただきました。隣には次年度開催の群馬県臨床検査技師会ブースがあり、協力し合って宣伝活動を行いました。

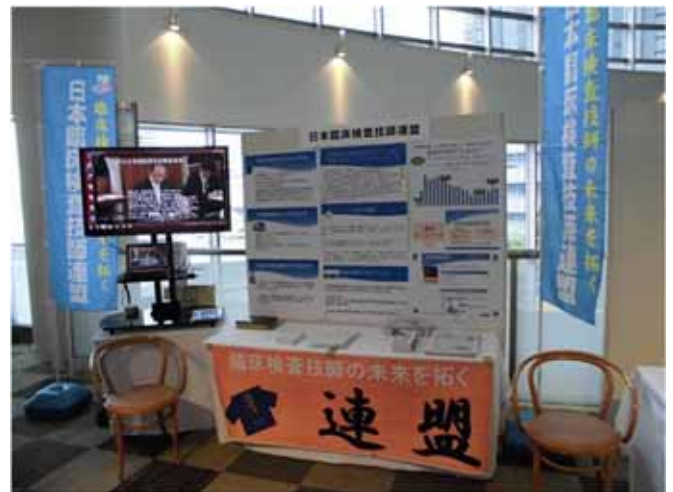
連盟ブースには大型のテレビを設置いただき、6月1日の参議院厚生労働委員会での宮島議員のやり取りを放映いたしました。スライド受付の順番を待っている会員や群馬県ブースに来られた方に連盟の必要性を説明し、MTJおよび自由民主党のチラシを配布しました。

また、連盟入会手続きを150部程度配布しました。その場で3名程度の方が入れさせていただきましたとの返事をいただきましたが、反応は非常に少なく寂しい思いをしました。

最後になりますが、連盟会員からはHPに連盟の活動を載せても通常みることはなく、従って連盟が何をしているのかは全くわからない。それでは誰も連盟なんて入るわけがない。会員に了承を得て、個人のメールアドレスにHPの内容を送っていただければ、必然と目にする事になり、連盟が少しは身近なものになるのではないかと意見を頂戴しました。

台風が接近した日程でしたが1,600名余りの来場者で非常に活気のある学会でもあったと思います。

埼玉県支部長 並木 薫



### 日臨技カンボジア学生の 受入研修生が国会を見学



カンボジア学生11名が平成29年9月28日～10月9日に来日し、平成29年10月2日国会見学を行い、宮島会長と国会議事堂前で記念撮影を行いました。



# 連盟活動は自分の仕事を守るための活動です



陳情を行う活動だけでは  
法律改正は難しい

臨床検査技師の身分・地位向上  
を目指し法律を改正するためには  
努力を惜みず、自分たちの力で  
行わなくてはなりません

我々の業務に関する法律を変える  
ためには政策決定の場へ臨床検  
査技師を送り出すことが重要です

連盟ホームページで  
会員新規登録が可能  
です！



<http://www.jamt-renmei.org/>

## 技師連盟に 入会しよう

平成29年6月に医療法が一部改正されました。これは国が「安全で適切な医療提供の確保を推進する」ために、衆参両議院本会議で可決し施行されるものです。

私たち臨床検査技師の仕事は、国会で審議され、はじめて法制化されていきます。この国会審議の場に、臨床検査技師が直接意見を言い、要望を伝えるには政治的な活動が必要不可欠です。

私たちの声を反映するには、組織力が必要。**会員数は大きな組織力**です。日臨技の会員全員が連盟会員になれば、6万人以上の声を国会へ届けることができます。

**自分の仕事を守る**ためにも、臨床検査技師の私たちが集い、技師連盟として活動することが大きな力になっていきます。

### Message

- 1) 臨床検査技師の身分・地位の向上に不可欠
- 2) 政治的要求には「数の力」が不可欠
- 3) 国政に反映されるには、政治団体の活動が不可欠
- 4) 都道府県単位に連盟支部があります
- 5) 私たちの団結力を信じよう
- 6) 公務員でも加入できます

お問い合わせは [nichigiren@jamt.or.jp](mailto:nichigiren@jamt.or.jp) まで

 **日本臨床検査技師連盟**